

事業目的

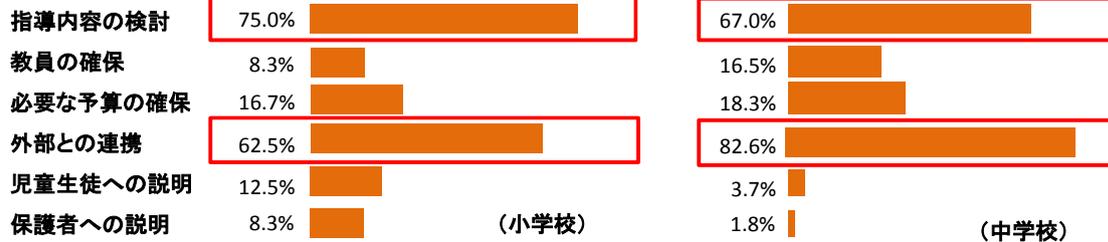
チャレンジ精神、創造性探究心等の「起業家精神」や、情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力等の「起業家的資質・能力」は、起業家や経営者だけに必要なものではなく、どのような立場であっても社会で活躍するために求められるものである。他者と協働しながら新しい価値を創造する力など、これからの時代を生きていくために誰もが必要な力を小学校段階から育成するための取組を実施し、全国へ普及する。

事業概要

小・中学校等において起業体験を行うモデルを構築する。具体的には、各学校において外部講師のサポートを得ながら、児童生徒が模擬会社設立、商品開発、販売、決算といった会社の実体験を通じて、特に、チャレンジ精神や自己肯定感を高めるための体験的な学習を実施する。
(7ブロック×2地域)

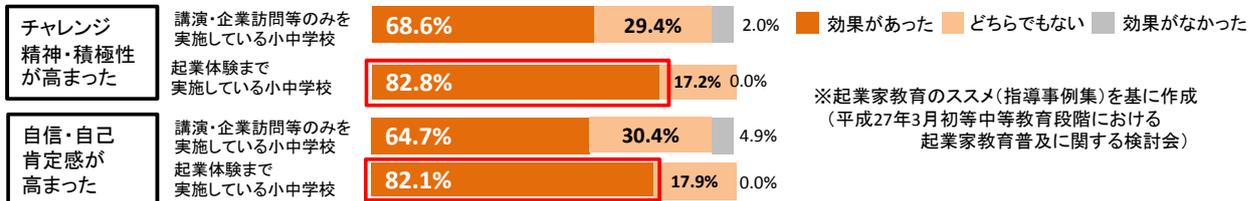
導入における課題

起業体験の導入にあたっては、特に指導内容の検討と外部との連携が課題となっている。



起業体験の効果

単に職場訪問や講演の実施するだけでなく、起業体験を実施することでチャレンジ精神や自己肯定感が高まる。



起業体験の実践事例

学校	目的・ねらい	プログラムの流れ	起業体験の効果
① 大阪府和泉市立幸小学校 対象学年：小学5年生 実施時間：総合的な学習の時間20時間	<ol style="list-style-type: none"> ものづくりや販売活動を通じて自分や友達の「良さ」を発見・認識し、認めあえる仲間作りを進める。 自分の考えや思いを適切に伝える、相手の話を聞いて理解する、などのコミュニケーション力を高める。 社会の仕組みの一端を知り、会社の一員として協力しながら活動を進めることで、働くことの楽しさや喜び、厳しさを理解し、学習への意欲を高める。 ロールモデルとなる地域の方々や社会で働く方との良い出会いを通して、生き方を学び、自分の生き方を考えるきっかけとする。 	<ol style="list-style-type: none"> 市場調査 調査結果の分析 商品開発・評価会(プレゼンテーション) 会社設立 資金調達(出資金を募る) 宣伝活動&製作活動 販売活動 収支決算 & 御礼 	<ul style="list-style-type: none"> 幸小学校が目指す子供像である「すすんで取りくむ子・最後までやりぬく子・心の豊かな子」に向けた成長・前進が見られた。具体的には、子供たちの自尊心・自己肯定感が高まり、将来の夢や目標に対する前向きな姿勢を持つことができた。 「自分にはいいところがあるすか」というアンケートにおいて、「たくさんあると思う」「少しあると思う」と答えた児童の割合が(実施前)70.9%→(実施後)90.3%に上昇した。
② 宮城県登米市立東和中学校 対象学年：中学2年生 実施時間：総合的な学習の時間48時間	<ol style="list-style-type: none"> 起業体験を通して、テーマ設定に始まり、進め方に至るまで全ての企画と実行を自分たちで行うことで「課題発見能力」、「課題解決能力」、「かかわる力」を養う。 事業を進める中で多くの関係する人たちの調整や、その調整に必要なバランス感覚を身に付けながら、地域の人々と交流を深める。 職業人と触れ合いながら、起業の模擬体験をすることで「仕事の厳しさ」、「やりがい」、「生きがい」を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 会社設立(グルーピング) 地域起業家による講話(働く意義) 会社設立(企業理念、商品企画) 会社ごとの活動(コンセプト、組織等) 製品づくり、予算書作成 融資交渉 起業学習中間発表 直前模擬販売会 秋祭り参加 起業学習発表会 	<ul style="list-style-type: none"> 地域を元気づけ 中学生が起業体験を通して活躍する姿を見ることで、地域の人々が元気づけられ、 地域愛が芽生え 地域の人々が起業体験に理解を示し、様々な協力をしてくれることで、地域愛が芽生え、 地域が活性化 東和中学校が地域を大切にし、地域が東和中学校を大切にすることで、地域が活性化する。

起業体験の普及率の低さや実施地域の偏りの是正を図る

新たに全国協議会等を実施し、全国に普及・啓発を行う

